

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社エフアンドエム 上場取引所 東  
 コード番号 4771 URL <https://www.fmltd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森中 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 森山 大 TEL 06-6339-7177  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,417	22.4	1,898	22.0	1,912	22.2	1,266	23.0
2022年3月期第3四半期	7,694	32.2	1,555	73.3	1,565	71.6	1,029	70.0

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 1,281百万円（26.1%） 2022年3月期第3四半期 1,016百万円（64.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	86.79	—
2022年3月期第3四半期	70.70	70.61

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,191	9,954	75.5
2022年3月期	12,052	9,140	75.8

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 9,954百万円 2022年3月期 9,140百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	17.00	—		
2023年3月期（予想）				17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,911	18.7	2,677	19.4	2,691	19.2	1,867	20.6	127.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	15,714,400株	2022年3月期	15,714,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,121,789株	2022年3月期	1,121,748株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	14,592,634株	2022年3月期3Q	14,567,734株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法及び決算説明会開催について）

決算補足説明資料は2023年2月1日（水）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

また、当社は2023年2月1日（水）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、政府による各種政策の効果や、行動制限の緩和等に伴う人流の回復により景気は徐々に回復基調となっております。一方で、ウクライナ情勢に起因した原油・原材料価格等の上昇や、日米の金利差拡大による急速な円安進行による物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは引き続きテレワークや時差通勤、オンラインでの商談や顧客フォローなどを推進することで、従業員及び顧客等の安全確保を優先するとともに、主要事業の会員数の増加およびサービス内容の拡充と業務の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高94億17百万円（前年同期比22.4%増）、営業利益18億98百万円（同22.0%増）、経常利益19億12百万円（同22.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億66百万円（同23.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (i) アカウンティングサービス事業

アカウンティングサービス事業は、生命保険営業職員を中心とする個人事業主及び小規模企業に対する記帳代行等の会計サービスになります。同事業では、各生命保険会社が新入社員向けに随時行っている研修への参加による営業機会の確保に注力すると共に、顧客フォロー体制の整備を進め、営業担当者がより営業活動に集中できる環境を整えました。また、処理工程においてはAIの活用を進めることなどで原価抑制に努めました。その結果、当第3四半期連結会計期間末（2022年12月31日）の会計サービス会員数は87,254名（前期末比9,745名増）となりました。

この結果、アカウンティングサービス事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は27億23百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は8億8百万円（同4.6%増）となりました。

#### (ii) コンサルティング事業

コンサルティング事業は、中堅中小企業の総務経理部門に対する各種情報提供サービスの「エフアンドエムクラブ」、ISO及びプライバシーマークの認証取得支援、「ものづくり補助金」や「事業再構築補助金」をはじめとした補助金申請支援等になります。

「エフアンドエムクラブ」については、2022年12月末時点で201行庫の地域金融機関と連携契約しております。連携及び提携済みの金融機関には、好連携事例を共有することなどにより稼働促進を図ると共に、引き続き中小企業経営者から非常に高い注目を集めている「事業再構築補助金」等の補助金活用を切り口とした提案を行うことで、営業機会の増強に努めました。また、コロナ禍により働き方の多様化が進んだことで、就業規則をはじめとした社内ルール等の整備をしたいと考える経営者や、採用環境のより一層の悪化により、今のうちに現有社員の育成に力を入れたいと考える経営者などのニーズを掴んだことが、新規の会員獲得に貢献しました。会員企業向けには、属人的なサービス提供体制からの脱却を進めており、カスタマーサクセスの稼働を開始しました。これにより、例えば決算月が迫っている企業には節税対策を提案する、市町村単位での補助金情報を案内するなど、顧客企業ごとにパーソナライズした情報を提供することが可能になりました。また、問い合わせについては、カスタマーサポートが集中して対応することで、解決までの所要時間を大幅に短縮できるようになりました。さらに、サービスコンテンツがバックオフィス全般に渡っていることから、幅広く相談に対応する必要がありますが、これまでの個社担当ではなく分野別の専門スタッフが対応する体制は一定の評価を得ております。その結果、当第3四半期連結会計期間末（2022年12月31日）のエフアンドエムクラブ会員数は8,613社（前期末比1,015社増）となりました。

ISO及び第三者認証取得支援については、サイバー攻撃等による情報セキュリティニーズが高まり、プライバシーマークならびにISO27001の取得の問い合わせが増えている状況です。また、食品業界が海外輸出を目論む事案も増えており、FSSC22000の認証取得が顕著に増加傾向にあります。さらに、自動車関連製造業において、今後のEV対応を睨みISO9001の取得が増加しているという状況です。これらの旺盛なニーズへの対応に注力しました。

「ものづくり補助金」や「事業再構築補助金」をはじめとした補助金受給申請支援については、令和元年度補正予算・令和2年度補正予算「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」として、当第3四半期連結会計期間では12次及び13次締切の申請支援を行いました。また、11次及び12次締切の採択結果が発表となり、11次は84件、12次は68件が採択されました。「事業再構築補助金」については8次締切の申請支援を行いました。また、7次締切の採択結果が発表となり、244件が採択されました。なお、8次締切の採択結果は発表待ちの状態です。

補助金名	締切	採択数
ものづくり補助金	11次	84件
	12次	68件
	13次	※1
事業再構築補助金	7次	244件
	8次	※2

※1・2 採択結果は発表待ちの状態です（2023年1月31日現在）。

この結果、コンサルティング事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は42億56百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益は16億9百万円（同11.1%増）となりました。

(iii) ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業は、士業向けコンサルティング、及び企業・士業向けITソリューションの提供等になります。

士業向けコンサルティングは、認定支援機関である税理士・公認会計士事務所の対応力向上を支援する「経営革新等支援機関推進協議会」等となります。

「経営革新等支援機関推進協議会」では、中小企業からの優遇税制支援や財務支援要請に対応するためのノウハウを必要とする税理士・公認会計士の継続的なニーズが、営業機会の確保につながりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末（2022年12月31日）の「経営革新等支援機関推進協議会」の会員数は1,682件（前期末比134件増）となりました。

企業・士業向けITソリューションの提供としては、人事労務クラウドソフト「オフィスステーション」シリーズの販売となります。「オフィスステーション」シリーズは、社会保険労務士や税理士向けの「オフィスステーション Pro」、マイナンバー管理ができる「オフィスステーション マイナンバー」、各種労務関連手続きを電子申請できる「オフィスステーション 労務」、同プロダクトの機能を一部制限し無料で提供している「オフィスステーション 労務ライト」、ペーパーレスで年末調整が完了する「オフィスステーション 年末調整」、各種情報端末からいつでも給与明細を閲覧できる「オフィスステーション 給与明細」、有休の付与・取得・残日数管理を行える「オフィスステーション 有休管理」で構成されています。

社会保険労務士事務所マーケットの深耕については、主に大規模事務所を対象としたハイタッチフォローを継続して行い、事務所での稼働促進に加え、顧問先企業に向けた「オフィスステーション」シリーズの販売活動の支援に注力しつつ、大規模事務所向けのパッケージプランの提案を進めました。好評を得ている給与計算機能に加え、協定届機能を実装しており、更に事務組合のリリースを予定しています。これらの機能を使えることや、事務所内でより多くの職員が利用できる環境を整えるためにID数を増やしたいとする大規模事務所ならではのニーズに対応できていることが、販売を後押ししています。

企業向けにはカスタマーサクセスを稼働させることで、一社あたりのユーザー数を増大させることに加え、クロスセルの取り組みに注力しました。また、新規の商談案件についてはフィールドセールスとカスタマーサクセスが連携を密にすることで、リードタイムの短縮や成約率向上に努めました。特に「オフィスステーション 年末調整」については、昨年利用実績のある企業に対する営業を前倒して行うと共に、新規の商談案件についてはトライアルの促進とそのサポートを強化することで、成約率の向上に努めました。さらに、複数の展示会に出展することで新規リードの獲得にも注力しました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末（2022年12月31日）の「オフィスステーション」シリーズの利用は、無料で提供している「オフィスステーション 労務ライト」の利用を含み、企業が22,919社（前期末比3,538社増）、士業が2,396件（前期末比228件増）となりました。

この結果、ビジネスソリューション事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は21億71百万円（前年同期比44.9%増）、営業利益は2億24百万円（前年同期は9百万円の営業利益）となりました。

(iv) 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は当社が所有するビルの賃貸収入で、安定した収益を計上しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は83百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は22百万円（同16.9%減）となりました。

(v) その他事業

その他事業は、連結子会社エフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業等、パソコン教室の本部運営及びFC指導事業等になります。エフアンドエムネットでは、「オフィスステーション」シリーズを中心としたエフアンドエムが販売する商品などのグループ内向け開発が大部分を占めました。

この結果、その他事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1億81百万円（前年同期比17.2%増）、営業損失は57百万円（前年同期は3百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は59億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億29百万円増加しました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が5億15百万円増加した一方、有価証券が1億円減少したことなどによるものです。

固定資産は72億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9百万円増加しました。これは主にソフトウェアが2億66百万円、その他(無形固定資産)が3億68百万円、投資有価証券が1億50百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は131億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億38百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は30億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億14百万円増加しました。これは主にその他(流動負債)が6億48百万円増加した一方、未払法人税等が4億7百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は1億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が10百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は32億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億24百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は99億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億14百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益12億66百万円が計上された一方、剰余金の配当4億66百万円が計上されたことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は75.5%(前連結会計年度末は75.8%)となりました。

なお、特筆すべき重要な資本的支出の予定及びそれに伴う資金の調達は当面ありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に「2022年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,289,556	4,271,140
受取手形、売掛金及び契約資産	980,615	1,496,037
有価証券	100,000	—
商品及び製品	2,601	2,349
仕掛品	1,405	14,543
原材料及び貯蔵品	4,811	5,250
その他	110,233	137,014
貸倒引当金	△14,100	△21,807
流動資産合計	5,475,122	5,904,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,177,912	1,137,321
工具、器具及び備品（純額）	166,245	137,898
土地	1,281,627	1,281,627
建設仮勘定	—	12,030
有形固定資産合計	2,625,785	2,568,877
無形固定資産		
のれん	51	38
ソフトウェア	2,357,774	2,623,994
その他	182,699	551,693
無形固定資産合計	2,540,525	3,175,727
投資その他の資産		
投資有価証券	503,309	653,975
繰延税金資産	374,944	345,698
滞留債権	30,778	32,264
差入保証金	135,951	134,672
保険積立金	382,812	393,456
その他	8,995	8,989
貸倒引当金	△26,077	△27,126
投資その他の資産合計	1,410,714	1,541,931
固定資産合計	6,577,025	7,286,535
資産合計	12,052,147	13,191,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,282	7,746
未払法人税等	659,453	251,538
賞与引当金	573,572	647,573
その他	1,539,902	2,188,610
流動負債合計	2,781,211	3,095,468
固定負債		
退職給付に係る負債	56,344	66,778
負ののれん	911	776
その他	73,662	73,662
固定負債合計	130,919	141,217
負債合計	2,912,131	3,236,685
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	989,650	989,650
資本剰余金	2,168,059	2,168,059
利益剰余金	6,199,012	6,998,504
自己株式	△271,861	△271,959
株主資本合計	9,084,859	9,884,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,156	70,123
その他の包括利益累計額合計	55,156	70,123
純資産合計	9,140,015	9,954,379
負債純資産合計	12,052,147	13,191,064



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,694,070	9,417,009
売上原価	2,450,227	2,933,157
売上総利益	5,243,843	6,483,851
販売費及び一般管理費	3,688,340	4,585,684
営業利益	1,555,502	1,898,167
営業外収益		
受取利息	937	507
有価証券利息	3,751	3,622
受取配当金	1,580	1,580
助成金収入	2,632	5,689
負ののれん償却額	135	135
業務受託料	660	650
保険返戻金	—	1,164
保険事務手数料	208	132
除斥配当金受入益	339	608
その他	1,174	1,331
営業外収益合計	11,420	15,424
営業外費用		
支払利息	25	—
その他	1,150	650
営業外費用合計	1,175	650
経常利益	1,565,747	1,912,942
特別利益		
固定資産売却益	18	—
新株予約権戻入益	1,848	—
特別利益合計	1,866	—
特別損失		
固定資産除却損	0	233
特別損失合計	0	233
税金等調整前四半期純利益	1,567,613	1,912,709
法人税、住民税及び事業税	590,029	623,612
法人税等調整額	△52,349	22,640
法人税等合計	537,679	646,252
四半期純利益	1,029,934	1,266,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,029,934	1,266,456

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,029,934	1,266,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,377	14,967
その他の包括利益合計	△13,377	14,967
四半期包括利益	1,016,556	1,281,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,016,556	1,281,424

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。